

株式会社メディネット

自己がん組織保管サービス

自己がん組織バンク

ご利用案内

■ 目次 ■

サービスのご案内	1 ページ
ご利用の手順	3 ページ
Q & A	5 ページ
ご担当の先生へ	6 ページ

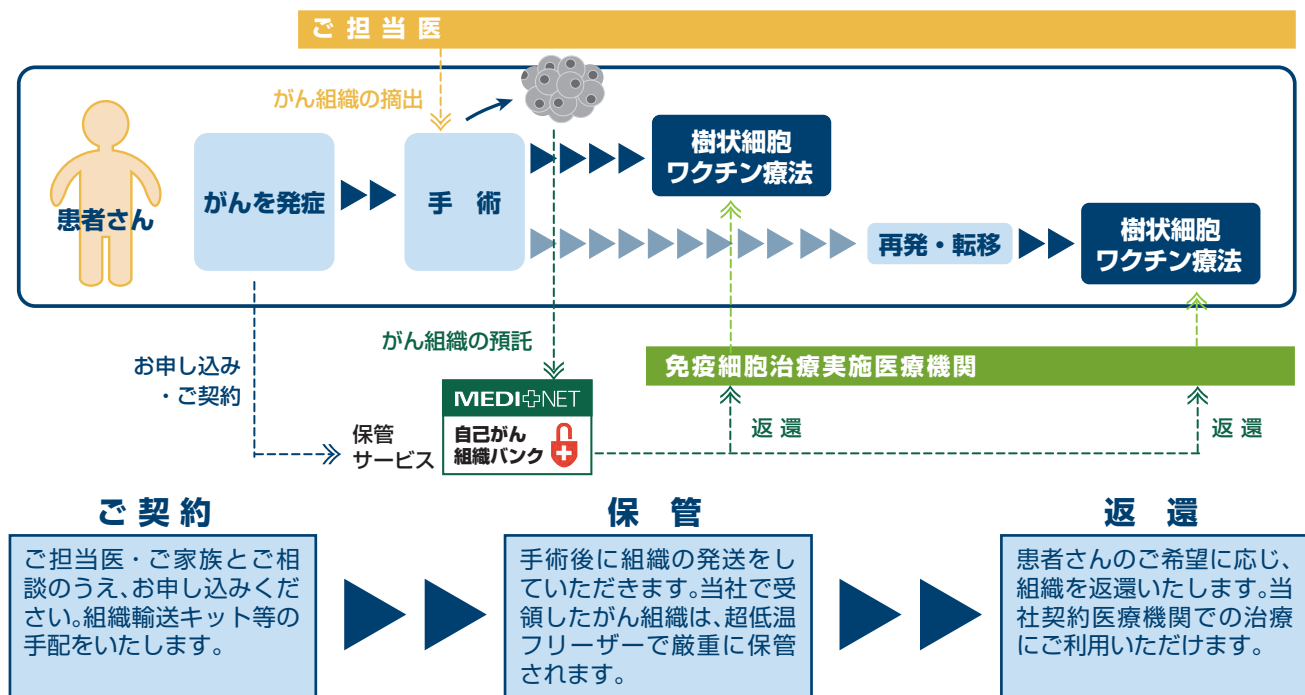


自己がん
組織バンク

サービスのご案内

手術で摘出したがん組織を用いることができれば、患者さん一人ひとりに適したがん治療の選択肢を広げることが可能になります。

治療に役立つ可能性のあるがん組織の一部を患者さんのご依頼により超低温フリーザーで保管し、ご希望に応じて返還するサービスが、メディネットの「自己がん組織バンク」です。



保管期間

原則5年間となります。

返 還

ご希望に応じて返還いたします。組織は当社の契約医療機関(医療法人社団滉志会 瀬田クリニックグループ)およびその連携医療機関^{※1}での免疫細胞治療に利用できます。

契約終了時に返還のご希望がない場合、適切な方法で廃棄するか、研究用に活用させていただきます。

費 用

保管料は無料です。(輸送費のみ実費をご負担頂きます。)

当社の契約医療機関およびその連携医療機関^{※1}での治療目的以外で返還をご希望された場合は、返還手数料60,000円(税抜き)および輸送費をご負担いただけます。

※1 契約医療機関との密接な連携体制により、契約医療機関と同等の免疫細胞治療を実施しています。
詳しくは、瀬田クリニックグループホームページ<http://www.j-immunother.com>をご覧ください。

がん再発のリスクに備えて

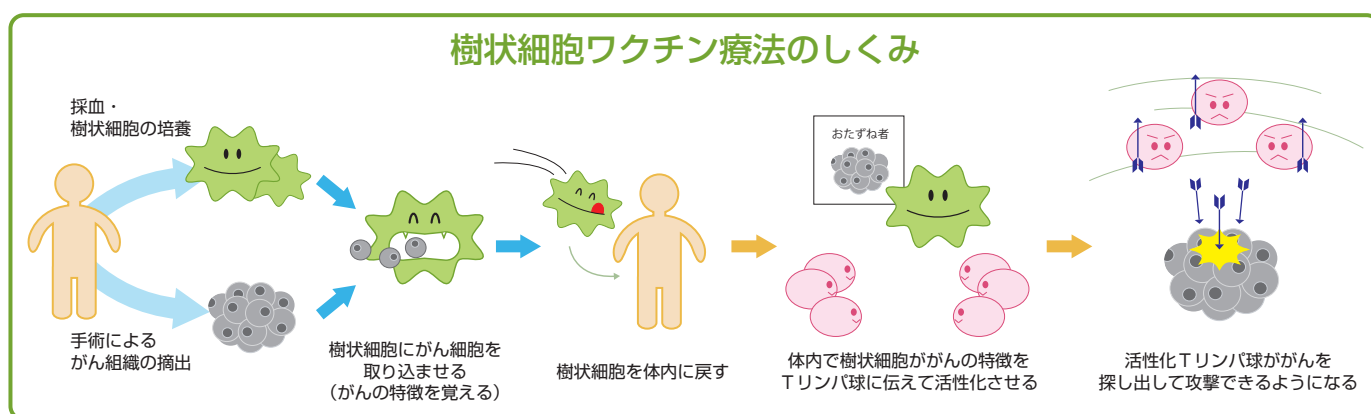
将来のがん治療に備えて、手術で摘出した患者さんのがん組織をお預かりします。

「オーダーメイド医療」の実現

がんの性状は患者さん一人ひとりによって異なるものであり、がんの特徴に応じて治療方針を決定する「オーダーメイド医療」の重要性は日々高まっています。手術で摘出したがん組織には、最適ながん治療を選択する上で大切な情報が含まれています。このがん組織を治療に用いることができれば自分のためだけの、まさしく「オーダーメイド医療」を行うことが可能です。

ご自身のがんに特異的な「免疫細胞治療」への応用

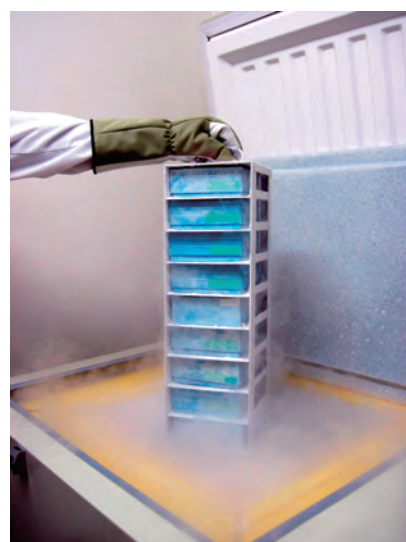
樹状細胞とよばれる免疫細胞は、がん細胞を食べて細胞表面にそのがん細胞の目印である「抗原」を提示します。その提示されたがん細胞の情報をTリンパ球(がん細胞を攻撃する能力のある免疫細胞)が受け取り、活性化・増殖してがん細胞を攻撃できるようになります。このしくみを利用した免疫細胞治療が「樹状細胞ワクチン療法(下図)」であり、ご自身のがん組織は樹状細胞ワクチン療法の抗原として利用できます。



安全管理体制

がん組織は専門の教育を受けた技術者によりクリーンルーム内で取り扱われ、補助冷却装置や温度管理システムを設置した超低温フリーザーで保管されます。

また、専用の管理システムによりお申し込みから返還までの各種情報や保管履歴などを管理しており、個人情報保護にも配慮した体制を整えています。



超低温フリーザー ▶

ご利用の手順

1

ご担当医 / ご家族と相談

がん組織の保管には、ご担当医のご協力が不可欠です。
ご担当医にはがん組織のほか、病理診断結果および感染症の検査結果をご提供いただきます。

また、組織の発送は手術直後になるため、お手伝いをしていただける方が必要になります。
本資料をご参考に、必ずご担当医やご家族など協力いただける方とご相談いただき、同意のうえでお申し込みください。

2

お申し込み / ご契約

がん組織を保管することが決まりましたら、同封の書類に必要事項をご記入の上、当社までご送付ください。

手術日に合わせて組織輸送キットを送付いたしますので、手術日が決定いたしましたら自己がん組織バンク(03-6423-0080)までご連絡ください。

3

組織輸送キットの受け取り

手術予定日の数日前に、当社より組織輸送キットを送付いたします。
※組織輸送キットの送料は着払いとさせていただきます。あらかじめご了承ください。

内容をご確認のうえ、添付の説明書に従って手術当日まで保管してください。

また、ご担当医に依頼して手術日までに感染症検査結果提供書(6ページ参照)にご記入いただき、自己がん組織バンクまでご送付ください。

組織輸送キットの内容



輸送箱

組織の輸送に用いる専用の保冷箱です。



保冷剤

輸送時の温度上昇を抑え、組織の劣化を防ぎます。



保存容器セット

保存容器内には組織の保存液が入っています。



保護容器

保存容器を保護します。

※容器、色、形状等に変更する場合がございます。

ご担当医にお渡しください

4

手術 / がん組織の発送

手術後、がん組織は原則手術当日中に発送をお願いいたします。
組織の受け取りなどについては、事前にご担当医とご相談ください。



がん組織の発送方法

組織輸送キットに同封の説明書をご参照のうえ、輸送箱に保冷剤と組織を入れてください。当社指定の専門の輸送会社が病院まで集荷に伺いますので、輸送箱ごとお渡しく下さい。なお、送料は患者さんのご負担とさせていただきます^{*1}。
直接自己がん組織バンクにお持ち込みいただくことも可能です。

^{*1} 送料は地域により異なります。

また、手術後にご担当医に病理診断結果提供書(6ページ参照)をご記入いただき、自己がん組織バンクへご送付ください。

5

保管

自己がん組織バンクにがん組織到着後、適切な処理を行い保管を開始いたします。
保管の作業、手続きが完了しましたら、当社より契約通知書を発行いたします。
保管期間は原則5年間となります。

6

返還

書面にて組織返還のご連絡をいただいた後に、手続きを行います。

当社の契約医療機関(医療法人社団混志会 瀬田クリニックグループ)等で免疫細胞治療を受ける場合には、医療機関に直接がん組織の引渡しを行います。

契約終了時に返還のご希望がない場合、適切な方法で廃棄するか、研究用に活用させていただきます。

上記医療機関以外での治療やその他の目的で返還をご希望される場合、返還手数料60,000円(税抜き)および輸送費を申し受けますのでご了承ください。



自己がん
組織バンク

03-6423-0080 (平日10:00~17:00)

〒140-0012 東京都品川区勝島 1-5-21 勝島1号倉庫5F

Q&A

Q 何のために自分のがん組織を保管するのですか？

A 手術後の再発予防、あるいは将来万が一再発してしまった時などにご自身のがん組織を使った免疫細胞治療を実施することができます。がん組織を入手できるのは主に手術時なので、ご担当医に依頼し、組織を保管することはとても重要です。

Q 保管した組織はどのような治療に使えますか？

A がん特異的免疫細胞治療である樹状細胞ワクチン療法の抗原として利用されることを想定しております。治療方針につきましては、ご担当医とよくご相談下さい。

Q 樹状細胞ワクチン療法とは何ですか？

A 樹状細胞は免疫細胞の一種で、がんの特徴となる目印(抗原)を取り込み、その情報を他の免疫細胞に伝えることで、がん細胞を攻撃する免疫反応を誘導します。この仕組みを利用して、患者さんの血液から分離した樹状細胞にがん抗原を取り込ませ、再び体内に戻すのが樹状細胞ワクチン療法です。自己がん組織には様々ながんの情報が含まれており、樹状細胞ワクチン療法の抗原として利用できます。

Q どんながん組織でも保管していただけますか？

A お預かりするがん組織は固形がん(リンパ節を含む)に限らせていただきます。再発・転移がんでも、保管は可能です。なお、感染症検査結果によってはお預かりできない場合がございますので、ご了承ください。

Q がん組織の保管を申し込むには？

A まずはお問い合わせください。おって必要書類をお送りいたします。ご契約、保管の流れの詳細は、3ページ「ご利用の手順」をご覧ください。

Q がん組織はどのように保管されるのですか？

A がん組織は、専門の教育を受けた技術者によりクリーンルーム内で取扱われ、補助冷却装置や温度管理システムを設置した超低温フリーザーにて保管されます。また、専用の管理システムにより個人情報保護にも配慮した体制を整えております。

Q がん組織を返還してもらうには？

A 自己がん組織バンクにご連絡ください。速やかに返還の手続きをいたします。患者さんご自身へのお渡しのほか、当社の契約医療機関などで治療される場合にはご指定の医療機関へ直接お送りすることも可能です。

Q 契約期間終了後のがん組織の取り扱いは？

A 適切な方法により廃棄するか、研究用に活用させていただきます。

Q 樹状細胞ワクチン療法はどこで受けられますか？

A 当社の契約医療機関(医療法人社団滉志会 瀬田クリニックグループ)などで樹状細胞ワクチン療法をはじめとする免疫細胞治療を受けられます。詳しくは、当社のホームページ(<http://www.medinet-inc.co.jp>)に掲載されている情報をご覧ください。

ご担当の先生へ

株式会社メディネットの「自己がん組織バンク」は、手術で摘出した患者さんのがん組織をお預かりしています。がん組織は「樹状細胞ワクチン療法」の抗原としての利用を想定し、専用の施設において超低温フリーザーで適切に管理・保管を行います。

ご担当の先生へご協力とお願い

患者さんは、手術によって摘出されたがん組織の一部を当社にて凍結保管することを検討されています。患者さんから依頼があった場合には、以下のとおり貴院のご協力をお願いいたします。

1. がん組織について

著しい壊死を起こしていない固形がんの状態^{※1}で可能な限りのご協力をお願いいたします。理想は大きさ2cm角(目安1～2g)程度です。小さな組織片、複数個でも結構です。

※1 がん組織は、ホルマリン固定、パラフィンやコンパウンドなどの包埋、薬剤処理をされていないものをお願いいたします。

2. 感染症検査結果のご提供

「感染症検査結果のコピー」または当社フォーマットの「感染症検査結果提供書」にご記入いただいたものを患者さんにお渡しください。過去6ヶ月以内のものをお願いいたします。

必須検査項目：HIV^{※2}、HCV、HBs

※2 HIV抗体が陽性の場合、組織を受け入れることができません。

3. 病理診断結果のご提供

病理診断結果として、「病理診断書のコピー」または当社フォーマットの「病理診断結果提供書」にご記入いただいたものを患者さんにお渡しください。

手術により摘出・採取したがん組織で、病理診断等に必要とする部分以外のがん組織について保管をするものであり、保管分の組織が採取できなかった場合でも、貴院およびご担当の先生が何ら責任を負うことはございません。

がん組織の処理手順

当社より組織輸送用の容器を患者さんに提供いたします（右写真）。

摘出したがん組織を生理食塩水などで洗浄した後、可能な限り無菌的に保存容器中の保存液に浸るようにお入れください。

がん組織を入れた容器は、手術後に患者さんご指定の方にお渡しください。お願いしますよう、お願いいたします。



ご不明な点がございましたら、お手数ですが下記までお問合せください。

株式会社メディネット 自己がん組織バンク TEL：03-6423-0080（平日10:00～17:00）



自己がん組織バンクに関するお問合せは

TEL : 03-6423-0080

(平日10:00 ~ 17:00)

FAX : 03-6423-0081

MEDI+NET
株式会社メディネット

〒140-0012 東京都品川区勝島 1-5-21 勝島1号倉庫5F
<https://www.medinet-inc.co.jp>